

令和8年度 学校経営 大野小学校(案)

1 大野小学校教育目標

○元気な子(体)

- ◇進んで体を動かし、健康・安全に気を配る子
- ◇失敗を恐れず、最後まであきらめずに取り組むたくましい子

○深く考える子(知)

- ◇様々なことに興味・関心を示し、知識・技能を身に付け、課題解決に活用する子
- ◇自ら広く深く探究し、仲間と学び合いながら、自分の学びを高められる子

○思いやりのある子(徳)

- ◇他者や自分のよさを見つけ、共に支え合い助け合い笑顔で生活する子
- ◇社会のルール・マナーを大切にして、感謝の気持ちをもって貢献する子

○進んで働く子(社会的自立)

- ◇学校や地域の集団の一員として多様な他者と関わり、主体的に働く子
- ◇働くことの意義を考えて、自己の役割を理解し、取り組む子

2 学校経営の基本方針

『 社会的自立(自立と貢献)に向けて、安全に成長できる学校をめざす 』

○「かかわり合いを大切にする経営」(自立)

児童一人ひとりが「受け入れられている」と思える、人間的なあたたかいかかわり合いを大切にして、自己有用感を育てます。

○「個に応じたサポート体制づくり」(成長)

それぞれ異なる生育環境・発達段階における学習・行動面の課題等について、保護者・教職員・関係機関等と連携をとり、個に応じたサポート体制の構築を目指します。

○「保護者、地域に信頼される学校づくり」(貢献)

一人ひとりが確かな指導力を身につけ、保護者・地域に信頼される教職員をめざすとともに、地域の特色を理解し、保護者・地域の協力を得て地域に根ざした学校づくりを進めます。

○「安全安心な学習・生活環境づくり」(安全)

整理整頓された校舎内外の学習環境作りと、保護者・地域ボランティアとの連携による安全な生活環境づくりを推進します。

3 スローガン

『 一人一人が「自立と貢献」に向かって輝く学校 』をめざして

4 本年度の重点

◆授業改善【学び】

◇「**試行錯誤・工夫**」ができる授業・活動(思考・判断・表現)

*校内研(書くこと)を通じた授業改善

*体験的な学習活動の展開

*クロムブックの有効活用等

◇「**一意専心・努力**」ができる授業・活動(知識・技術)

*繰り返し、継続して学習することによる基礎基本の定着(書く・読む・計算・運動等)

*学状・学びのテスト・MIM等の状況共有・活用を通じた、個に応じた支援・指導

*授業のルール確立と、家庭学習・読書活動の充実

◆「居場所」づくりと「絆」づくり【ハートフル】【健康】

◇「居場所」「絆」を感じられる特別活動

*学級活動(居場所づくり・絆づくり→「自立・共存」)

*学級・学年横断的活動(行事・児童会・クラブ・異学年交流→「貢献」)

◇「居場所」「絆」を感じられる「心の教育」(いじめ防止・不登校対応)

*いじめへの対応(未然防止・初期対応・再発防止)…学年チームによる対応

*不登校への対応(未然防止・初期対応・長期支援)…ポジティブ行動支援の実践

◆次期学習指導要領改訂を見通しながら【学び】【ハートフル】【健康】

◇「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実のための、適切な支援